



〈学校教育目標〉

仁淀川のように清らかに
横倉山のようにたくましく

『越知のたから』 ～stage III～



〈越知小学校 学校だより 2020年7月30日(木)〉 NO.11

1 学期の様子②～主体的な学びの継続～

本年度、1学期の授業日は7月30日までで59日間（3・5年生：58日間）でした。6月中旬までは主要教科の学習を中心に進め、後半に総合的な学習や音楽・図工等を行う工夫をし、どの学年も1学期の履修事項を終えることができました。主体的な学び合いの取組は、三密を避けることや実施時間の制約などから難しい面もありましたが、今年度も7月3日に西留先生に来ていただき公開授業を行いました。今年度も、ソーシャルディスタンスに気を付けながら学習リーダーが中心となる児童主体の授業を進めています。このような状況ですので、県内外からの視察訪問も中止となりましたが、子ども達は、日々の積み上げから堂々と学びを深める学習を続けています。



1年生：学習のルールが定着し、問題から“わかっていること”や“きかれていること”等をリーダーさん中心に進められるようになりました。

2・3年生：マイボードやノートに書いた自分の考えを、ソーシャルディスタンスに気を付けながら伝え合っています。国語の学習は、今年から3年生以上はA4ノートを使っています。書き込みがドンドン増えました。



4・5・6年生：学習リーダーが要点を絞って板書をしたり、友だちの考えを自分の考えと比較しながら説明をしたりして学習を進めています。また、大小のラミネート付せんを活用し、思考を視覚化したり構造化したりしながら学びを深めています。

